



お元気教室(介護予防教室)のご案内

高齢者の皆さんが生き生きと生活を送れるよう介護予防教室を開催します。運動や口腔機能の向上、認知症予防などの内容で行います。

- 対象** 65歳以上の町民
- 会場** 吉里吉里公民館
- 日程** 9月～11月の10回コース
毎週火曜日 10時～12時
9月：11日、18日、25日
10月：2日、9日、16日、23日、30日
11月：6日、13日
- 定員** 20名
- 参加費** 無料
- 送迎** ご希望の方には送迎も行います。
- 申込期間** 8月6日(月)～20日(月) 直接窓口または電話にてお申し込みください

【申込の際の留意点】 下記に該当する方で教室への参加を希望する場合は、担当のケアマネジャーにご相談ください。

- ① 要介護認定要支援1・2をお持ちの方
- ② 総合事業対象者(基本チェックリスト(25項目のアンケート)により生活機能の低下等が認められる方)

教室の流れ



おきらく教室の様子をご紹介します!

おきらく教室とは、趣味活動を通して、新しい仲間作りや外出する機会を提供し、介護予防の取り組みを促す教室です。



「賭けない・飲まない・吸わない」がモットーの健康麻将是今回初めて実施している教室です。初心者の方には、講師の先生がわかりやすく教えてくれます。女性だけでなく男性の参加者もあり、手や頭を使いながら皆さんで楽しく活動しています。

10月広報で、後期(11月～3月)のおきらく教室参加者を募る予定です。

【お申込み・お問い合わせ先】 大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

ひよっこりカフェのご案内

認知症等に関する相談対応、認知症予防等に取り組んでいます。認知症の人やご家族、認知症について学びたい人等、お気軽にご参加ください。

- 日時** 8月22日(水) 13:00～15:00
- 会場** つくし薬局本店 まちかどふれあい室
- 内容** 「お盆」をテーマとした講話等

つくし薬局本店 TEL 0193-42-8500

平成29年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介 (一般部門 最優秀賞) 主婦のわざ 愚痴も自慢の 健康法 (元持 弘子さん)

小中一貫教育だより



城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

小中一貫教育全国サミットinおおつち 大槌町を全国へ発信 おもてなしの準備進行中

3ヶ月後に迫った小中一貫教育全国サミットinおおつちの開催に向けての準備が進んでいます。

9日の学園の授業公開、10日の分科会全体会の計画もできあがり、全国に向けての2次案内も発送されました。

案内の内容やコマercialビデオは町のホームページやYouTubeにアップしてありますのでどなたでもご覧になれます。

両日で、1200人を超える参加者が予想され、大会運営のため多くのスタッフが必要となります。

【運営のための必要なスタッフ】

- 会場の設置：机いすの運搬、設置
- 参加者の案内：道案内、会場内の案内など



駐車場係：各会場の駐車場案内、整理
受付係：授業公開、分科会、全体会
昼食係：弁当の引き渡し、汁(つみれ汁)の調理、配膳

その他、前日までの準備として、子供たちが記念品として製作する「海藻しおり」の完成作業や大会資料の袋詰め、特産物の販売コーナーなどたくさんの皆さんの参加が必要です。地域の皆さん総がかりでの応援をお願いします。

ふるさと科の助っ人 サッポロホールディングス 大槌学園・吉里吉里学園の活動を支える

サッポロホールディングス株式会社から大槌町へ教育寄付金が贈呈されました。

平成23年度から「大槌臨学舎」への支援を続けている同社は、一昨年からふるさと科の活動への支援も別枠で行い、大槌学園の「新巻鮭」づくりをするための生鮭の購入や吉里吉里学園の「塩蔵ワカメ」づくりの用具等の購入の費用にあてています。

贈呈式には、上條 努会長が大槌学園を訪れ、この秋に新巻鮭づくりをする8年生が参加して、平野公三町長に目録を手渡しました。

子供たちの発表や授業を参観した上條会長からは「大槌町を愛し、発展を担っていく大人になってほしい。中学時代は、一番楽しい、やりたいことができる時代だ。ここでは、先生方が一生懸命やっていることにも感謝した」との感想が述べられました。



ふるさとを舞う 吉里吉里学園郷土芸能発表会

7月4日(水)、吉里吉里学園の郷土芸能発表会が中学部の体育館で行われ、鹿子踊り、大神楽、虎舞が力強く演じられました。

会場には、保育園児から施設のおじいさんおばあさんまでたくさんの皆さんが訪れ、子供たちの演技に万雷の拍手が鳴り響きました。

これは、郷土芸能を「ふるさと科」の学びとして取り組んできた成果であり、学校、家庭、地域が一体となつての伝承活動として進化してきている証であると感じられます。

発表が終わって、小学部の感想から一貫教育の成果が感じられました。

- 1年生：神楽をやり続けようになりたい
- 2年生：お兄さんお姉さんがかっこよかったです。お兄さんお姉さんみたいに踊ってみたい。
- 3年生：踊りの意味が分かってよかったです。お兄さんたちのようにがんばりたい。